

歯周基本治療のポイントと診断に苦慮する病態

講師



九州歯科大学 口腔機能学講座
歯周病学分野 教授

中島 啓介 先生

主 催：鹿児島県保険医協会
TEL：099-254-8662 (12/6まで)
099-272-9970(12/11から)
※「事務所移転」に伴い電話番号
が変わります。ご注意ください。

参加費
無料

WEB
参加可

申込メ切
1/17・水

講師より一言

歯肉縁上プラークから遊離した細菌は、傷でもない限り口腔に露出している歯肉外縁上皮からは侵入できません。しかし歯肉溝内面を構成する歯肉内縁上皮は角化していないため、歯肉縁下プラークから遊離した細菌が生体内へ侵入する際の経路となります。よって、歯周基本治療では歯肉縁上・縁下プラークの除去が大原則なのですが、経験の浅い歯科医師は「スケーリングを行って歯周外科手術を行えば歯周病は改善する」とこれを軽視しがちです。歯周外科手術の成功は、良質な歯周基本治療が実施済みであることが前提です。本講演では、歯周基本治療を上手く行うためのポイントに加えて、これまで経験した診断に苦慮する病態についてもお話させていただきます。

と き： 2024年1月20日(土) 18時30分~20時30分

参加方法：①会場参加(フジヤス鹿児島金生町ビル8F会議室)

所在地：鹿児島市金生町7-8(三井住友信託銀行が1階にあるビルです)

②Web参加(Zoom Webinar)

返信 FAX099-254-8667(12/6まで)・FAX099-272-9980(12/11から)

1月20日(土)第68回歯科研究会

①会場で()名参加します。

お名前 ()医療機関名 ()

ご記入者 ()ご連絡先 ()

②Web参加ご希望の方は、本会ホームページ「今後の催しのご案内」、
または右記二次元コードよりお申込下さい。

※開催前までに、お申込み頂いたメールアドレス宛に参加案内をご連絡します

※「事務所移転」に伴いFAX番号が
変わります。ご注意ください。

